

県民のあゆみ



特集 令和7年度当初予算について
奏であう人
潜入レポート！

P.02

P.08

P.16

地域の観光PRや魅力発信に取り組む「やまがた愛の武将隊」と「未来創造戦士ユメリオン」のお二人。本県の観光誘客や地域活性化に向けて活動しています。詳しくは、8ページで紹介！
(撮影場所:最上広域交流センター ゆめりあ)

表紙の
今月の
Ｑの

やまがた“みらい共創”予算

人口減少の加速、自然災害の頻発・激甚化、物価高騰の長期化などの課題に対応しながら、県民の安全・安心の確保に向けた取組みを強化し、将来を見すえ、県民の皆さまとともに山形県の明るい未来を創っていくため、令和7年度当初予算を編成しました。今回は、概要と主な事業を紹介します。

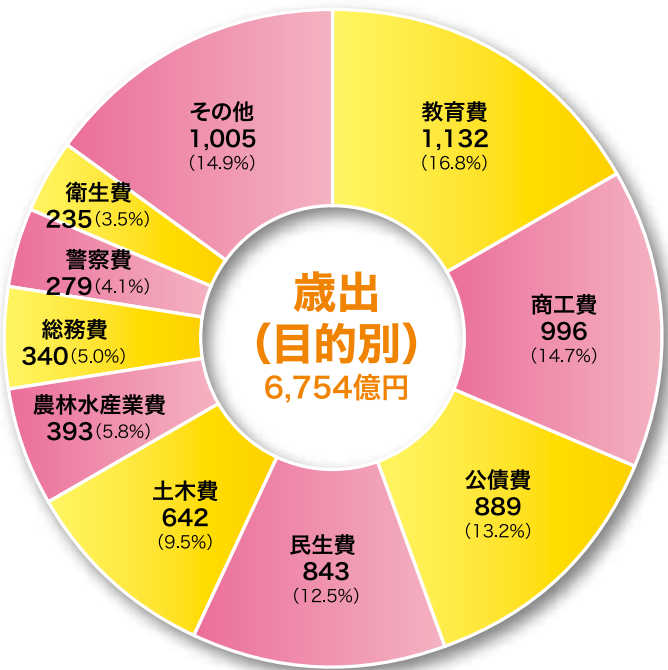
令和7年度一般会計予算 6,754億円

前年度比256億円増、3.9%増

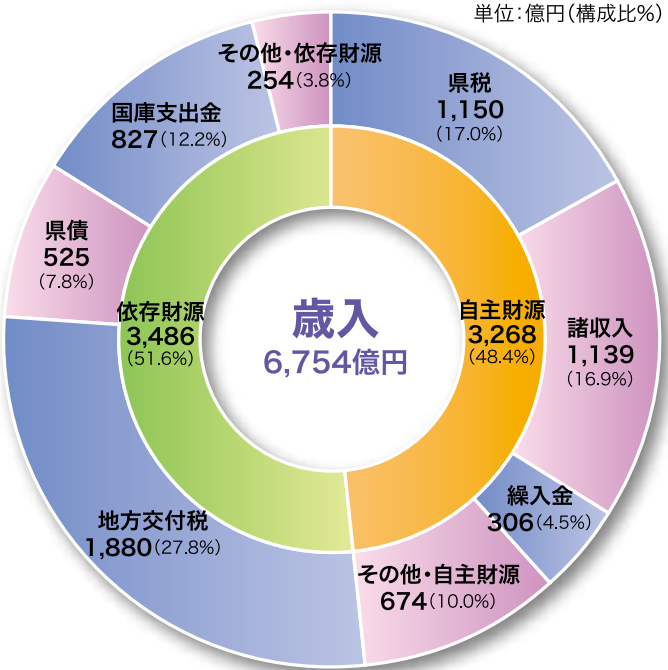
詳しくは▼



単位：億円（構成比％）



注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

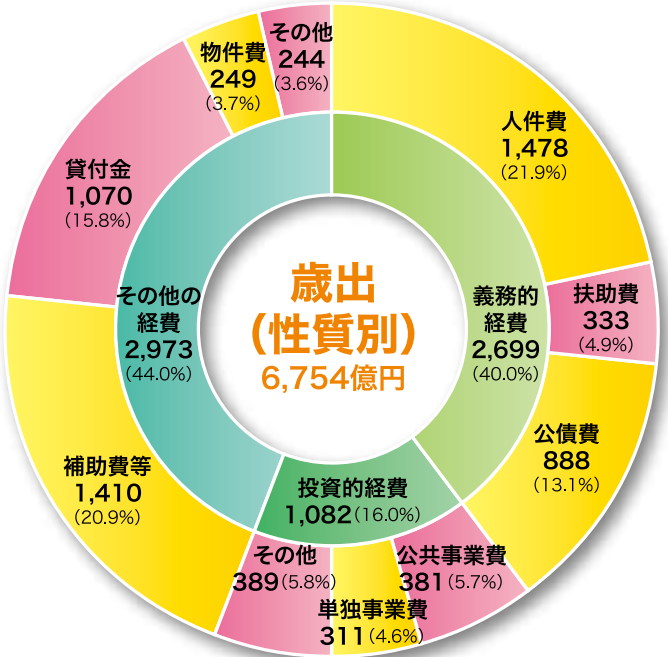


◆県債残高の見込み

今年度末の県債残高の見込みは、1兆1,388億円となり、前年度当初予算と比べて、58億円の増加を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債、補正予算債、災害復旧事業債および国土強靱化関係事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6,109億円となり、前年度の同時期と比べて16億円の減少を見込んでいます。

◆調整基金の残高

今回の予算編成において、180億円を取り崩し、今年度末における残高は158億円と見込んでいます。



用語解説

歳入
地方交付税 自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
県債 道路整備・学校建設などの目的で県が借りるお金
国庫支出金 農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

歳出
目的別
公債費 県債返済などに使うお金
民生費 生活保護などの社会保障のためのお金
衛生費 医療や健康増進、環境保全などのためのお金
性質別
扶助費 児童手当や生活保護などに使うお金
補助費等 市町村または民間に対する補助金など

1 中長期を見すえた「人口減少対策」の強化

（●新規、○拡充、○継続）

●『県民まんなか』『みらい共創力フェ』の開催 1000万円

こどもや女性、若者、高齢者など、県民と知事の意見交換の場として『県民まんなか』『みらい共創力フェ』を開催し、意見等を県政に生かしていきます。

○0～2歳児の保育料無償化に向けた段階的な負担軽減 9億8900万円

安心して山形でこどもを生み、育てることができるよう、0歳から2歳児の保育料無償化に向けた段階的な負担軽減の対象世帯を拡充します。

●若者・子育て世帯を中心とした本県独自の移住支援 1億1800万円

若者・子育て世帯の本県への移住を促進するため、移住支援金の拡充や賃貸住宅の家賃補助など、本県独自の重点的な支援を行います。



●包摂性・寛容性の高い地域づくりの推進 2400万円

女性・若者が山形で活躍する姿や多様な働き方・暮らし方などの情報発信、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けた啓発などにより、誰もが活躍し、輝ける地域づくりを進めます。

●県立高校における国際的な視野と起業家精神を持つ人材の育成 2200万円

県立産業系高校等におけるオンライン英会話や、「やまがたイノベータータイプマインドスクール（仮称）」の開校などにより、国際的な視野と起業家精神を持った人材を育成します。

●不登校児童生徒の多様な学びの機会の確保 300万円

経済的な困難を抱える世帯を対象にフリースクール等の利用料を市町村と連携して支援するほか、メタバースを活用した不登校児童生徒の居場所づくりに取り組みます。

●多文化共生社会の実現に向けた環境整備や地域の交流促進 900万円

外国人住民も安心して暮らせる環境整備への支援や、多文化共生への理解を深めるイベントの開催などにより、日本人も外国人もお互いを認め合い、共に活躍できる社会を目指します。

○米沢トンネル（仮称）の早期実現および鉄道の沿線活性化 5億2300万円

山形新幹線米沢トンネル（仮称）の整備に備え、約5億円を基金に積み立てるとともに、トンネルの整備効果を高めるため、沿線の活性化や利用拡大に向けた取組みを県内全域で行います。



他の主要事業

○シニア世代求職者と人手不足企業の効果的なマッチング等による就業支援	2,600万円
○私立学校の運営・授業料等負担軽減のための支援（入学金の支援を拡充）	76億7,200万円
○屋内スケート施設を含む新スポーツ施設についての検討の深化	2,600万円
○県立博物館の移転整備に向けた基本構想の策定等	3,500万円
○山形・庄内空港の機能強化と滑走路延長等を含めた将来ビジョンの検討等	1億2,600万円

2 時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」

●地域課題解決型ビジネス創出のための
取組み 3100万円

市町村を核とした地域課題解決型ビジネス創出の支援体制づくりの支援や、県、米沢市、米沢商工会議所および山形大学工学部の4者連携によるイノベーションの創出、デジタル技術を活用した地域食材の販路開拓に取り組みます。

●県内企業の脱炭素経営の推進
およびGX関連産業への参入支援 3300万円

県内企業における「脱炭素経営」を推進することにより、市場での競争優位性の維持・確保を図るとともに、企業の技術力強化により、GX関連産業への参入を支援します。

●山形の山魅力満点(マウンテン)
プロジェクトの推進 1900万円

「やまがた百名山」でのデジタルスタンプラリーの開催や、登山者と山岳関係団体との交流などにより、「山」の利用拡大や保全活動の担い手確保に取り組みます。



●気候変動に強い
さくらんぼ産地づくりの推進 1億500万円

気候変動に強く、生産性の高いさくらんぼ産地づくりに向け、高温対策技術の導入支援や、スマート農業を活用した未来型果樹栽培を推進します。

●やまがたフルーツ150周年を
契機とした県産果物の魅力発信 9900万円

本県に「さくらんぼ」などの果樹苗木が導入されてから150年目となる今年、6月には「さくらんぼメモリアルフェスタ」を、8月には「やまがたフルーツEXPO」を開催するなど、本県フルーツのさらなる魅力発信と産地の活性化を図ります。



●誰もが山形の観光を楽しむことができる
「アクセシブルツーリズム」の推進 8300万円

旅行者の背景や価値観が多様化する中、年齢や障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが山形での観光を「安全」かつ「快適」に楽しめるよう、機運の醸成や情報の発信、受入態勢の整備を進めます。



●銀山温泉と県内観光地を結ぶ
広域連携に向けた調査・検討 800万円

インバウンド需要が拡大し、多くの外国人旅行者が銀山温泉を訪れる中、この効果を県内各地に波及させるため、銀山温泉と県内観光地を結ぶ広域連携に向けた調査・検討を行います。

他の主要事業

◎製造業やIT関連企業等の積極誘致に向けた企業立地促進補助金等の交付	19億2,400万円
◎中小企業まるっとサポート補助金による設備投資等への支援	※令和6年度2月補正予算を含む 2億4,600万円
●蔵王の樹氷復活に向けたオオシラビソ林再生計画の策定等	1,500万円
◎「ラーメン県そば王国」等の地域資源を活用した観光誘客と県内周遊の促進	3,700万円

3 様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」

○令和6年7月の大雨災害からの
復旧・復興 ※192億6900万円
※令和6年度2月補正予算を含む

被災した施設等の復旧・復興を着実に進めるとともに、市町村と連携し、被災者への支援を切れ目なく行います。

◎災害に強い強靱な県土づくり ※156億7000万円
※令和6年度12月・2月補正予算を含む

豪雨災害を踏まえた治水対策や、土砂災害が発生するおそれのある箇所の調査を実施するほか、河川堤防の点検や予防修繕、地震から命を守るための住宅改修等への支援を行います。



吉野川の整備状況

●地域防災力の強化 ※1億5700万円
※令和6年度2月補正予算を含む

近年の災害を踏まえ、防災対策の今後の方向性を検討するほか、避難所の生活環境を改善する設備や、避難所運営を円滑にする防災アプリを導入します。

●孤独・孤立対策の推進 800万円

孤独・孤立を防ぐための官民連携プラットフォームの設立や専用ポータルサイトの開設、県内の実態調査を行います。

●持続可能な野生鳥獣の被害防止対策の
強化および体制構築の推進 5800万円

市町村、大学、猟友会と連携し、持続可能な被害防止体制の検討を進めるほか、新たな手法によるクマの生息状況の把握や市街地出没防止のための緩衝帯整備など、地域の取組みを支援します。

他の主要事業

●女性防災士の増加に向けた女性防災士育成セミナーの開催	600万円
●地域における防災学習の展開とアクションプランの策定	2,900万円
○西村山地域の新病院整備に係る基本計画の策定	4,300万円
◎ひとり親家庭への支援およびこどもの居場所づくりの推進	1億3,800万円

ピックアップ!

物価高騰への支援（主なもの）

物価高やエネルギー価格の上昇が引き続き大きな影響を及ぼす中、これ乗り越え、県民生活の安全・安心や県内経済の持続的成長につなげていくため、物価高騰への対応を力強く展開します。

〔生活者への支援〕

- ・生活困窮者等に対して食料品等を提供するフードバンク活動への支援
- ・県立学校の給食において質と量を維持するための保護者負担軽減に向けた支援
- ・迷惑電話防止機能付き固定電話機など防犯用品購入キャンペーンの実施



再エネ設備等導入への補助

- 対象：蓄電池設備、薪・ペレットストーブ、
地中熱利用装置
- 補助額：10万円～85万円
- 期間：11月28日まで

詳しくは▼



省エネ家電への買換えの支援

- 対象：エアコン、冷蔵庫、エコキュート、テレビなど
- 特典：購入額の30%相当分のキャッシュレスポイント
などを進呈
- 期間：5月頃～11月頃（予定）

〔事業者等への支援〕

- ・燃料や資材などの価格高騰の影響が大きい医療機関、社会福祉施設、中小企業、運輸・交通事業者、農林水産業者などへの支援
- ・食品や工芸品の販路開拓や地域公共交通の利便性向上の取組みなどへの支援 など

詳しくは▼



スポーツを盛り上げた受賞者の輝きをたたえて

令和6年度山形県スポーツ賞授賞式(令和7年2月18日、山形市)

競技スポーツで優秀な成績を収めた方や、本県の生涯スポーツの振興に寄与した方へ贈られる「山形県スポーツ賞」の授賞式を開催し、68名2団体への授賞を行いました。吉村知事は、パリ2024オリンピック・パラリンピック、国民スポーツ大会など各種大会での受賞者の成績をたたえ、さらなる活躍への期待を述べました。本県の選手や、本県ゆかりの選手が活躍する姿は、県民に勇気と感動を与えるとともに、子どもたちの夢や希望になっています。



モンテディオ山形、ホーム開幕戦で2025シーズン初勝利！

モンテディオ山形 vs ブラウブリッツ秋田(令和7年3月9日、天童市)

サッカーJ2・モンテディオ山形は、ブラウブリッツ秋田を迎え、2025シーズンのホーム開幕戦を戦いました。試合は、キャプテンに就任した本県出身の土居聖真選手^{どいしょうま}の先制点を口火にモンテディオ山形が得点を重ね、最終的には4-2で今シーズンの初勝利を飾りました。スタジアムには1万5千人を超えるサポーターが集まり、選手に熱い声援を送りました。「山形一丸」をスローガンにJ1昇格を目指すモンテディオ山形の戦いを、県民みんなで応援しましょう！



©MONTEDIO YAMAGATA

知事 コラム

いちずに、かじつ。
やまがたフルーツ150周年

新緑の季節を迎え、「フルーツ王国やまがた」は、いよいよシーズン本番を迎えます。

明治8年にさくらんぼ等が本県に導入されてから今年で150年となり、「やまがたフルーツ150周年」を迎えることから、先人たちがいちずに挑戦してきた歴史を振り返るとともに、その誇りと情熱を未来に伝えてまいりたいと考えております。

6月6日、7日には、「やまがたフルーツ150周年」とさくらんぼシーズンのスタートを祝う記念イベント「さくらんぼメモリアルフェスタ」の開催を予定しております。ぜひ、県民の皆さんはもとより、多くの方にお越しいただき、さくらんぼの魅力を感じていただきたいと思います。

昨年度は例を見ない高温となり、さくらんぼの作柄に大きな影響があったことから、その対策として、気象災害対策技術の開発・普及を進めており、さまざまな取り組みを行いながら、生産者の皆さんと共に、さくらんぼをはじめとするフルーツ王国やまがたを次代へつないでまいります。

さくらんぼから始まり冬まで途切れることなく美味しいフルーツを県内外、さらに海外へもお届けしてまいります。皆さん、ぜひお楽しみに!!



山形県知事 吉村美保子

県政 トピックス

こんなことが
ありました

蝶野正洋さん、やまがた特命観光・つや姫大使に就任！

蝶野正洋さんへの「やまがた特命観光・つや姫大使」委嘱状交付(令和7年2月3日、山形市)

プロレスラーの蝶野正洋さん^{ちょうの まさひろ}が「やまがた特命観光・つや姫大使」に就任し、県庁で委嘱状交付式が行われました。吉村知事は「つや姫の魅力を全国、世界の皆様にお伝えくださるようお願いします。」と述べて、蝶野さんに委嘱状を手渡しました。これまでプロレスの興行などで何度も本県を訪れている蝶野さんは、「つや姫はとてもおいしい。山形はおいしいものがいっぱいあるので、全国に広くPRしていきたい。」と熱意を込めて語りました。



次世代を切り拓く若手研究者たち！

第23回山形県科学技術奨励賞授与式(令和7年2月10日、山形市)

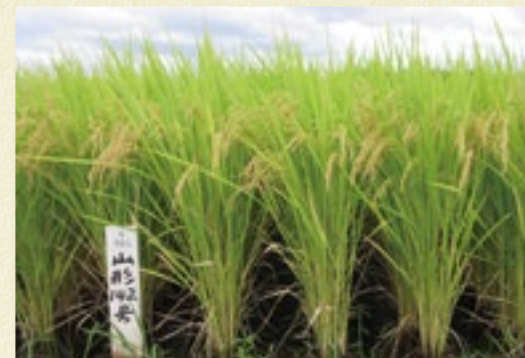
県科学技術奨励賞授与式が開催され、県内で優れた成果を挙げた若手研究者3名が表彰されました。鶴岡工業高等専門学校^{あらふねひろゆき}の荒船博之さんはポリマーにより機械の摩擦や摩擦を抑える技術の研究、山形大学^{おおとたかお}の大音隆男さんは次世代の小型ディスプレイに応用できるマイクロLEDの研究、同大学^{にしやままさてる}の西山正晃さんは下水モニタリングによる薬剤耐性菌の発生動向調査の研究などに取り組みました。県内産業の振興や県民生活の向上につながることが期待されます。



暑さに強いお米の新品種「山形142号」

水稻新品種「山形142号」を奨励する品種に採用(令和7年2月5日、山形市)

生産者の需要が高まっている高温に強い水稻の新品種として、「山形142号」を県の奨励する品種に採用することを決定しました。「山形142号」は、県水田農業研究所が平成24年に交配した新品種で、母親は「雪若丸」です。吉村知事は、「白くて大粒のおいしいお米で、収量性が高く、高温に強い。生産していただけるようにしっかりと取り組んでいきたい。」と語りました。県では、令和9年のデビューを目指して取組みを進めていきます。



奏であう人

vol.81

地域へのエールを役に込めて



くさ の よし たか
草野 義尊さん(米沢市)

1985年生まれ。埼玉県出身、米沢市在住。株式会社オニキス代表取締役。劇団員や会社員を経て、東日本大震災をきっかけに、福島県の観光PRを行う「ふくしま八重隊」に参加。2016年からは米沢市を拠点とする「やまがた愛の武将隊」に参加し、直江兼統として山形県の観光PRに取り組むとともに、地域の目玉になる新たなイベントも企画している。



昨年秋に米沢市で初開催された「第1回やねざわ戦国花火大会」。草野さんはプロジェクトメンバーの一員として企画演出を務め、最新のドローンショーや、武将隊の演武を組み合わせた戦国エンターテインメント花火を仕掛け、多くの観客を魅了した。

「やまがた愛の武将隊」として本県の観光PRに取り組む草野義尊さんと、ローカルヒーロー「未来創造戦士ユメリオン」を企画し、地域活性化に取り組む齊藤海さんに、活動への思いをお聞きました。



さい と う みちる
齊藤 海さん(宮城県)

1989年生まれ。宮城県出身・在住。JR新庄駅に併設された「最上広域交流センター ゆめりあ」の運営に携わる中で、ローカルヒーロー「未来創造戦士 ユメリオン」を発案し、スーツのデザイン、台本、演出などを作り込んだ。ユメリオンは、2023年より精力的に活動し、拠点である新庄市のほか、県内外で最上地域のPRに取り組んでいる。



ゆめりあで定期的に開催しているユメリオンショー。今年2月に秋田県のローカルヒーロー・ビートファイターAceとコラボして開催したステージショーは、過去最高の盛り上がりとなった。

震災を乗り越えて気づいた
地域への思いと情熱

やまがた愛の武将隊（以下、武将隊）の直江兼統として活動する草野さん。きっかけは東日本大震災でした。

「福島で被災し、仕事も失いました。そんな時に、大河ドラマを活用した観光PRを担う、『ふくしま八重隊』の募集ポスターを目にし、かつて東京で役者を目指していた頃の情熱が再燃しました。募集期限は過ぎていましたが、復興の役に立ちたいと担当者に熱意を伝え、八重隊としての活動が始まったのです」。

6年間の任期中、福島のPRで全国各地を飛び回る中で、草野さんは武将隊と出会いました。

「武将隊の本拠地である米沢市は、福島からの震災避難者を多く受け入れていました。福島での活動の後は、武将隊の一員になり、恩返しをしたと考え、移住を決めました」。

武将隊は、県内観光地でのおもてなしをはじめ、国内外のイベントへの出演、新たなイベントの企画・運

営など、活動の幅を広げながら、本県の観光PRに取り組んでいます。

コロナ禍に誕生したユメリオン

一方、「ユメリオン」の生みの親の齊藤さんは、コロナ禍だからこそユメリオンが誕生したと言います。

「縁あって、『最上広域交流センター ゆめりあ』の運営に携わり、施設を活用した地域活性化の企画を考えることになりました。当時は、コロナ禍の真ただ中で、マスクが欠かせないことを逆手に取り、フルフェイスマスクのヒーローイベントを思いついたのです」。

閉塞感を吹き飛ばし、地域に笑顔を届けるために、ユメリオンは、ゆめりあでの定期公演や、保育園、福祉施設などへの訪問などを重ねたそうです。今では子どもたち、そして地域に愛される存在です。

「ユメリオンは各地に出向き、PR隊として活動できます。そこで最上地域をPRすることで、最上と他の地域、つまり点と点をつなぐことができるのです」。

武将とヒーロー
役だからこそ伝えられること

齊藤さんが続けます。

「子育てや介護をしている人、家族のために働く人、苦手を勉強や運動に取り組んでいる子どもたち。日々何かと戦っている皆さん一人ひとりがヒーローです。そんなメッセージを伝えるステージにしたいと考えています」。

草野さんがうなずき、武将隊が伝える意義について話します。

「歴史観光を楽しんでもらう際には、わかりやすく伝える工夫が大切です。武将が上杉神社参拝に来たお客さまを案内することで、難しい資料を読まなくても、地域の歴史や魅力を伝えることができます。体験を通して、お客さまの観光地に対する愛着も深まるはずです」。

齊藤さんが共感して応えます。

「役だからこそ、深く伝えられることもあります。歯磨きをテーマにしたショーをした後に、子どもが歯磨きをするようになったと聞いた時は、うれしかったですね」。

〳〵会えること〳〵を続ける大切さ

「武将隊は、今年で活動15周年を迎えます。前代表から事業継承する際に、『また会える日を待っているぞ』とお客さまを見送る限り、武将隊を継続、発展させることを誓いました。この誓いは、苦しい時も活動を続ける原動力です」と草野さん。

「活動を広げていく上でも、大事なことです。ユメリオンは、今年新たなステージとして、山形と宮城の2地域での活動を考えているんです」と応える齊藤さん。

奏であうお二人の対談を締めくくするように、直江兼統とユメリオンが現れます。

「継往開来！先人たちが地域に残した偉業を受け継ぎ、皆で未来を拓こうぞ！なあ、ユメリオン殿！」と直江兼統がこぼしを上げます。

ユメリオンもこぼしを上げ、応えます。

「未来創造！過去と未来、想いは一つ！毎日を頑張るみんながヒーローだ！」。

2月定例会の概要

令和7年2月定例会は、2月19日から3月19日までの29日間の会期で開催され、令和7年度一般会計予算案や令和6年度一般会計補正予算案など知事提出の83議案、議員・委員会提出の4議案を可決・同意しました。また、請願3件を採択、意見書6件を可決しました。

今定例会では、河川流下能力向上対策や、観光振興のための財源確保など幅広い分野で活発な質疑質問が行われました。



着物姿で本県の伝統産業をPR

新 正副議長の紹介

議長および副議長選挙が行われ、第36代議長に田澤伸一議員（東田川郡選挙区）が、また、第70代副議長に楳津博士議員（寒河江市・西村山郡選挙区）が選出されました。



田澤伸一 新議長



楳津博士 新副議長

令和7年度
各委員会の
所属委員は
こちらから



2月定例会で 質疑質問を行った議員

詳しくは
こちらから



録画中継



会議録検索システム
（※2月定例会分は
6月以降に掲載予定）



広報誌
「県議会やまがた」
（公民館等で閲覧可）

代表質問（2月27日）

自由民主党
遠藤寛明 議員
（上山市選挙区）

◆ 河川流下能力向上対策
など

県政クラブ
梅津庸成 議員
（山形市選挙区）

◆ 観光振興のための財源確保
など

一般質問（2月28日・3月3日）

自由民主党
阿部恭平 議員
（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆ 山形県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備基本構想
など

自由民主党
相田日出夫 議員
（東置賜郡選挙区）

◆ 保育料無償化に向けた段階的負担軽減事業
など

県政クラブ
橋本彩子 議員
（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆ 西村山地域の新病院と既存の町立2病院との連携
など

県政クラブ
石川正志 議員
（新庄市選挙区）

◆ 第5次農林水産業元気創造戦略の考え方
など

自由民主党
佐藤文一 議員
（新庄市選挙区）

◆ 令和6年7月の大雨による災害の復旧・復興
など

自由民主党
佐藤正胤 議員
（鶴岡市選挙区）

◆ 知事5期目の公約を受けての県政運営の方針
など

予算特別委員会（3月5・6・7日）

自由民主党
伊藤香織 議員
（山形市選挙区）

◆ 知的障がい者の高齢化に対応できる社会資源
など

県政クラブ
齋藤俊一郎 議員
（東根市選挙区）

◆ 北村山公立病院の医師確保
など

自由民主党
五十嵐智洋 議員
（長井市・西置賜郡選挙区）

◆ 男性教職員の育児休業
など

日本共産党
山形県議団
石川 渉 議員
（山形市選挙区）

◆ 選択的夫婦別姓制度に対する知事の所感
など

県政クラブ
吉村和武 議員
（山形市選挙区）

◆ 深刻化する孤独・孤立社会における不審死対策
など

自由民主党
洪間佳寿美 議員
（米沢市選挙区）

◆ 再エネ課税導入の考え
など

県政クラブ
高橋啓介 議員
（山形市選挙区）

◆ 地方分権の推進
など

自由民主党
伊藤重成 議員
（最上郡選挙区）

◆ キャリア教育の改善点
など

2月定例会で採択した請願

- 「山形県立河北病院と寒河江市立病院の統合再編・新病院整備に関する協議会」で議論されている「基本構想」への意見反映について
- 日米地位協定の見直しを求める意見書の提出について
- 国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての請願

2月定例会で可決した意見書

- 災害の被害認定基準の見直しを求める意見書
- 看護、介護及び障害福祉サービス従事者の更なる処遇改善を求める意見書
- 令和6年7月25日からの大雨による農業被害に対する支援の充実強化を求める意見書
- 地域公共交通の維持・充実のための支援の拡充を求める意見書
- 女性活躍の推進に向けた施策の充実強化を求める意見書

詳しくは
こちらから



令和6年度 議会政策提言

「交通インフラ・活力あるまちづくり対策特別委員会」、「子ども支援・女性若者活躍対策特別委員会」、「人材活用・経済活性化対策特別委員会」における1年間の審査・調査結果を踏まえ、県勢発展に向けた政策提言を県議会の総意として取りまとめ、3月18日、森田廣議長から知事に手渡しました。

<審査・調査したテーマ>

- 1 交通インフラ・ネットワーク整備による地域活性化の推進
- 2 女性の活躍・県内定着の推進
- 3 外国人材を中心とした多様な人材の活用



詳しくは
こちらから

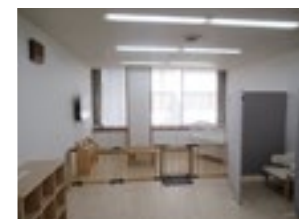


議事堂内に車椅子用傍聴席と 保育スペースを整備

県議会では、県民の皆さんが傍聴などでお越しになる際の環境の整備を進めており、令和6年度は、本会議場の車椅子用傍聴席（4席）と、ベビーベッドや授乳エリアなどを備えた保育スペースを新設しました。車椅子用傍聴席は、議員が車椅子に乗って実地調査を行い、保育スペースは、子育て支援団体から助言をいただくなど、より使いやすいものになるよう整備しましたので、ぜひご利用ください。利用方法などの詳細は、県議会事務局までお問い合わせください。



車椅子用傍聴席



保育スペース

2月定例会における 県議会ギャラリーの展示

県議会ギャラリーでは、2月定例会の期間中、「山形県統計グラフコンクール」で入賞した小中学生の優秀作品8点と、「山形県高等学校新聞コンクール」で入賞した9校の優秀作品を展示しました。



統計グラフコンクール



新聞コンクール

請願等のオンラインによる提出について

県議会に対する請願、陳情・要望について、従来の書面による提出に加え、やまがたe申請（山形県電子申請サービス）による提出が可能になりました。

詳しくは
こちらから



県議会の情報は、
山形県議会ホームページに
満載です。
ぜひご覧ください!!

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

試験

山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施します。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
大学卒業程度	4月25日(金)～5月22日(木)	6月15日(日)
短大・高校卒業程度 市町村立学校事務職員	8月1日(金)～8月28日(木)	9月28日(日)
警察官A	4月25日(金)～6月16日(月)	7月13日(日)
警察官B	7月11日(金)～8月25日(月)	9月21日(日)

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 4月25日(金)
短大・高校卒業程度 8月1日(金)
市町村立学校事務職員 8月1日(金)
警察官A、警察官B 4月25日(金)

◆配布場所 県庁(1階受付、15階人事委員会事務局)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)※県ホームページからもダウンロードできます。

詳しくはこちら▶

問 人事委員会事務局 ☎023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験(1次試験)を、以下のとおり実施します。出願は電子申請で行います。また令和6年度から大学3年次特別選考や東京会場が追加されました。

◆試験日 7月12日(土)

◆実施要項HP公開日 4月18日(金)

◆出願受付開始日 4月21日(月)

詳しくはこちら▶

問 教育局教職員課
☎023-630-3406

山形県病院事業局
職員選考試験(看護師)

今年度の県立病院の職員選考試験を、以下のとおり実施します。

◆試験日 6月14日(土)、15日(日)

◆申込受付期間

4月25日(金)～5月22日(木)

◆受験案内配布開始日 4月25日(金)

◆配布場所 県庁(1階受付、12階県立病院課)、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪

・名古屋)※県ホームページからもダウンロードできます。

臨時職員についても各県立病院で随時募集を行っております。詳しくは各県立病院までお問い合わせください。

詳しくはこちら▶

問 県立病院課
☎023-630-2167

令和7年度狩猟免許試験

今年度の狩猟免許試験を、以下のとおり実施します。

会場	試験日	申込受付期間
庄内会場 (庄内総合支庁)	7月19日(土)	6月9日(月)～6月23日(月)
置賜会場 (置賜総合支庁)	8月23日(土)	7月7日(月)～7月22日(火)
村山会場① (山形県庁)	9月13日(土)	8月4日(月)～8月18日(月)
村山会場② (山形県庁)	9月14日(日)	
最上会場 (最上総合支庁)	12月5日(金)	10月27日(月)～11月10日(月)
西村山会場 (西村山地域振興局)	令和8年 1月16日(金)	12月8日(月)～12月22日(月)

◆申請書類配布場所

県庁みどり自然課、各総合支庁環境課(分庁舎除く)

ダウンロードなど
詳しくはこちら▶

問 みどり自然課 ☎023-630-3404

募集

奨学金返還支援制度の
助成候補者を募集します。

【新やまがた就職促進奨学金返還支援事業】
学生やUターンを希望する社会人の方を対象に、県内で就業・定住すると奨学金の返還を支援します。

①学生の方(大学・短大・専門学校など)

◆やまがた若者定着枠(定員230名)

◆企業連携支援枠(定員50名)

◎募集時期:5月19日(月)～6月30日(月)

(企業連携支援枠は9月30日(火)まで)

◎支援額:2万6千円×令和7年4月以降の奨学金貸与月数(企業連携支援枠は支援額に10万円を加算します)

②社会人の方(県内の高校が大学などを卒業した40歳以下の県外在住者)

◆Uターン促進枠(定員40名)

◎募集時期:5月19日(月)～10月31日(金)

◎支援額:県内居住・就業開始時点で

の奨学金返還残額(上限60万円)

申込方法など
詳しくはこちら▶

問 産業創造振興課
☎023-630-2691

【山形県病院薬剤師奨学金返還支援事業(貸与型)】

新たに県内の病院で薬剤師として勤務する方の奨学金返還の一部を支援(貸与)します。一定期間勤務することで返還免除になります。

令和8年度からの貸与を希望する方を「予定者」として募集します。

◆募集定員 30名程度

◆一次締切 8月29日(金)

二次締切 10月31日(金)※

※一次で定員に満たない場合のみ

◆貸与額 年間最大60万円

◆貸与期間 最大6年間

詳しくはこちら▶

問 健康福祉企画課

☎023-630-2333

地域の湧水を大募集！

県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、県内外に広く紹介しています。地域で守り、大切にしている湧水をぜひご応募ください。

◆募集期間

5月16日(金)～6月30日(月)

◆応募対象となる湧水

良好な水質と水量を有し、地域で保全活動が行われている湧水など

◆応募者

湧水などの保全に携わっている方

応募方法など
詳しくはこちら▶

問 水大気環境課
☎023-630-2204

お知らせ

自動車税種別割の納期限は
6月2日(月)です

自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアで納付できます。また、自動車税種別割の納税通知書に地方税統一二次元コードが印字されていれば、地方税お支払サイトやスマートフォン決済アプリを利用した納

山形県の人口と世帯数 令和7年3月1日現在(土前月比) 人口総数1,004,507人(－1,419人)・世帯数400,853世帯(－392世帯)

付ができます。利用可能なスマートフォン決済アプリなど、詳しくは地方税お支払サイトおよび県ホームページをご覧ください。



地方税お支払サイト



県ホームページ

問 税政課 ☎023-630-2068

5月は自転車月間です！

自転車は安全・適正に利用しましょう

自転車の交通ルールやマナーをきちんと守らずに乗車し、自転車事故に遭う方が少なくありません。自転車事故を防ぐため、交通ルールやマナーをしっかり守りましょう。自転車事故で亡くなった方の約5割は頭部に致命傷を負っています。頭部を守るヘルメットを着用することは、皆さんの大切な命を守ることに繋がります。自転車に乗る際はヘルメットを着用しましょう。

◆自転車損害賠償責任保険への加入
「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、加入が義務となっています。必ず加入しましょう。

◆高校生を対象とした自転車ヘルメットの購入費用助成事業の実施
安全基準を満たしたヘルメットを2千円引きで購入できます。ぜひご活用ください。

詳しくはこちら▶

問 消費生活・地域安全課
☎023-630-2460

熱中症に注意しましょう！

これからの季節は、気温が上がるため、熱中症の危険が高くなります。体温調節が十分にできない乳幼児や高齢者は、特に注意が必要です。以下のポイントを心がけて、熱中症を予防しましょう。

熱中症予防のポイント

- ①のどが渇く前にこまめに水分を補給する
- ②屋外では日傘や帽子を使い、日差しを避ける
- ③室内ではエアコンや扇風機を使い、適切な室温を保つ
- ④日頃から健康管理を心がける
- ⑤適度な運動などで暑さに備えた体づくりをする

問 がん対策・健康長寿
日本一推進課
☎023-630-2919



やまがたフルーツ150周年誘客キャンペーン開催！

開催期間:5月1日(木)～11月30日(日)

今年は、山形県でさくらんぼや西洋なしなどのフルーツ栽培が開始されて150年目です。この記念すべき節目の年に山形のフルーツと観光がさらに盛り上がるよう、県産フルーツを核にした観光誘客キャンペーンを開催します。

1. 150!やまがた旬スイーツめぐり

実施期間:6月2日(月)～8月31日(日)

県産フルーツを使用した150周年限定のスイーツと県内観光地を楽しむ特別企画を開催予定！

2. 関連イベントも盛り沢山！

県内各地でフルーツをテーマにしたイベントが予定されています。詳しくは150周年記念ポータルサイトや県公式観光サイトをご覧ください。

①さくらんぼメモリアルフェスタ

(6月6日(金)、7日(土) 文翔館にて)

②やまがたフルーツEXPO前夜祭

(8月8日(金) やまぎん県民ホールイベント広場にて)

③やまがたフルーツEXPO

(8月9日(土)、10日(日) 山形ビッグウイングにて)

問 観光交流拡大課 ☎023-630-3246

5月は消費者月間です

2025年度統一テーマ

「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」

かけがえのない地球を守り、持続可能な社会を将来世代に引き継いでいくためには、地球環境に配慮した消費行動が求められます。ご自身の消費行動を振り返り、地球環境に配慮したグリーン志向の消費行動を始めてみませんか。

消費者ホットライン ☎188

契約に関しておかしいなと思ったり、不安を感じたときは、消費者ホットライン188にお電話ください。最寄りの消費生活相談窓口につながります。

LINE登録
してケロ



問 消費生活・地域安全課
☎023-630-3239

山形県視覚障がい者情報センター
(旧 県立点字図書館)のご案内

県立点字図書館は、4月より山形県視覚障がい者情報センターに名称を変更しました。引き続き点字図書・録音図書の貸出や福祉用具の情報提供、相談対応などを行っています。今年度は4月～6月、9月～11月の第4



いちずに、かじつ。
150th
YAMAGATA FRUITS

県産フルーツを使用した150周年限定のスイーツと県内観光地を楽しむ特別企画を開催予定！

県内各地でフルーツをテーマにしたイベントが予定されています。詳しくは150周年記念ポータルサイトや県公式観光サイトをご覧ください。

詳しくは150周年記念ポータルサイトや県公式観光サイトをご覧ください。



150周年記念
ポータルサイト



県公式
観光サイト

日曜日を休日開所日とします。平日に來所することができずにお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひご利用ください。センターのご利用には簡単な登録が必要です。電話などですぐ登録できます。

【山形県視覚障がい者情報センター】
〒990-0031 山形市十日町1-6-6

☎023-631-5930

◆開館時間 午前9時～午後5時

◆休館日 土・日・祝日・年末年始

※上記休日開所日を除く

問 障がい福祉課 ☎023-630-2293

大阪・関西万博開催中!(10月13日(月・祝)まで)





どうなってるの!?

スーパーの裏側 (ヤマザワ)

スーパーマーケットの店員さんは、
どんな仕事をしているの?

お客さまが必要な商品を集めて売ることで、
便利な生活をサポートしています。

毎日、食料品や日用品などを販売し、私たちの暮らしに
欠かせないスーパーマーケット。店員さんは、「レジ」のほ
か、野菜や肉、魚、惣菜を担当する「生鮮」、納豆や豆腐な
どの加工食品、お菓子、日用品などを担
当する「グロサリー」の3つに分かれて
仕事をしています。一日の中で一番忙し
いのは開店前で、朝届いた商品売り
場に並べたり、野菜や肉、魚などを使い
やすく加工してパックや袋に詰めたり
と、短い時間で開店の準備をします。

開店中は、商品が一番売れる時間のお昼と夕方に合
わせて、売れている商品を売り場に補充したり、惣菜を
つくったりします。お店のこだわりは、地域で愛されてい
る地元商品や、オリジナルで開発した商品と惣菜です。
定番商品に加え、地域ならではの商品を取り入れること
も、お祭りやイベントに積極的に参加することで、地域
に根ざしたお店を目指しているそうです。



お昼や夕方に合わせて、できたてを提供

こだわりの惣菜は店内で調理



株式会社ヤマザワ 代表取締役社長
ふるやま としあき
古山 利昭 さん

地域の皆さまの豊かな食生活を応援するために、旬
の野菜や新鮮なお肉やお魚、惣菜を提供しています。
また、地産地消にも取り組んで地域の生産者を応援
し、地元食材を食卓へと届けています。おいしい食材
がいっぱいの山形を、これからも応援していきます。



先端技術で売り切れなどを防ぐ!

最先端のAIによる売れ行きの予測など
を参考にして商品を仕入れることで、
売り切れや売れ残りを防いでいます。



約15畳の部屋が丸ごと冷蔵庫

巨大な冷蔵庫や超低温の冷凍庫で、
商品の鮮度を保ちます。売れた商品は
すぐに補充し、お客さまがいつでも買
えるようにしています。



地域に合わせたお店づくり

NDソフトスタジアム近くのお店では、
モンテディオ山形を応援するフラッグ
を飾るなど、地域の特色を売り場の
装飾や商品に取り入れています。



毎日の食卓に飽きない味を提供

惣菜は、コロッケなどの定番商品のほか、
恵方巻などの季節商品やご当地メニュー
などを独自に開発しています。

